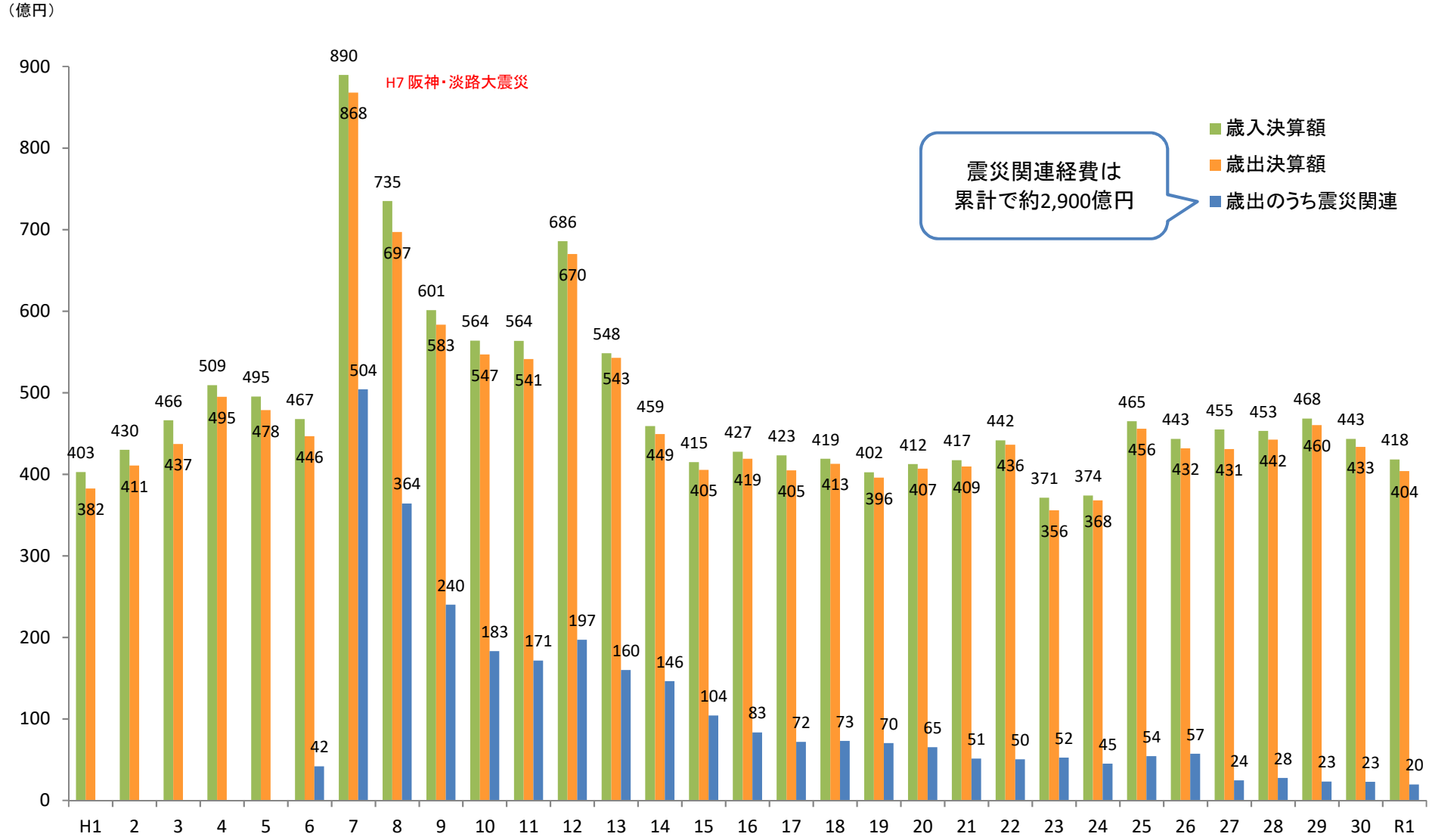
令和２年９月14日
行財政改革推進懇話会
資料2

芦屋市の財政状況について

一般会計に係る歳入・歳出決算額の推移（H元年度～R元年度）

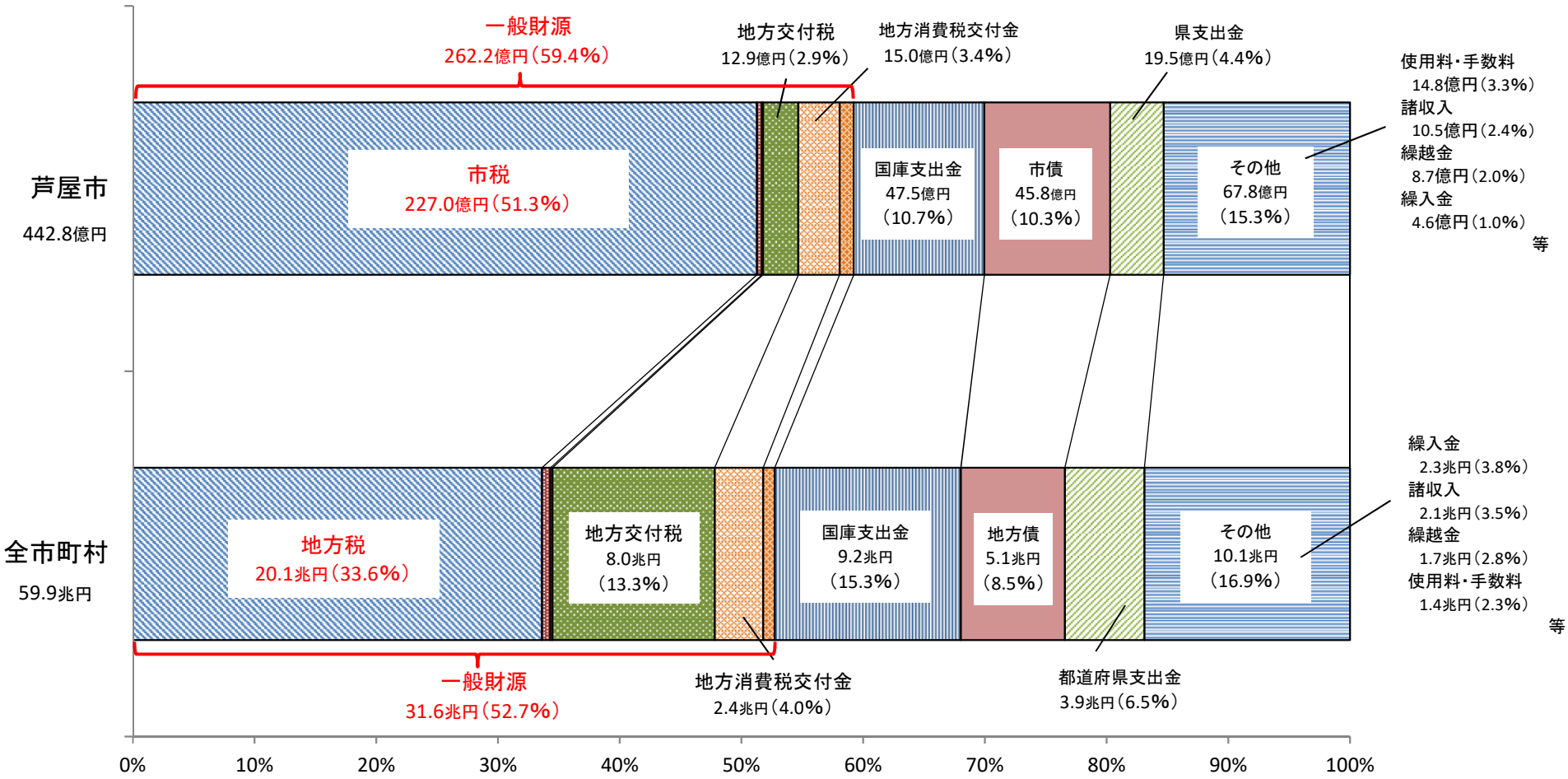


※「歳出のうち震災関連」は，各年度の「地方財政状況調査」における国への報告数値による。

普通会計に係る歳入決算額の状況（H30年度決算ベース）

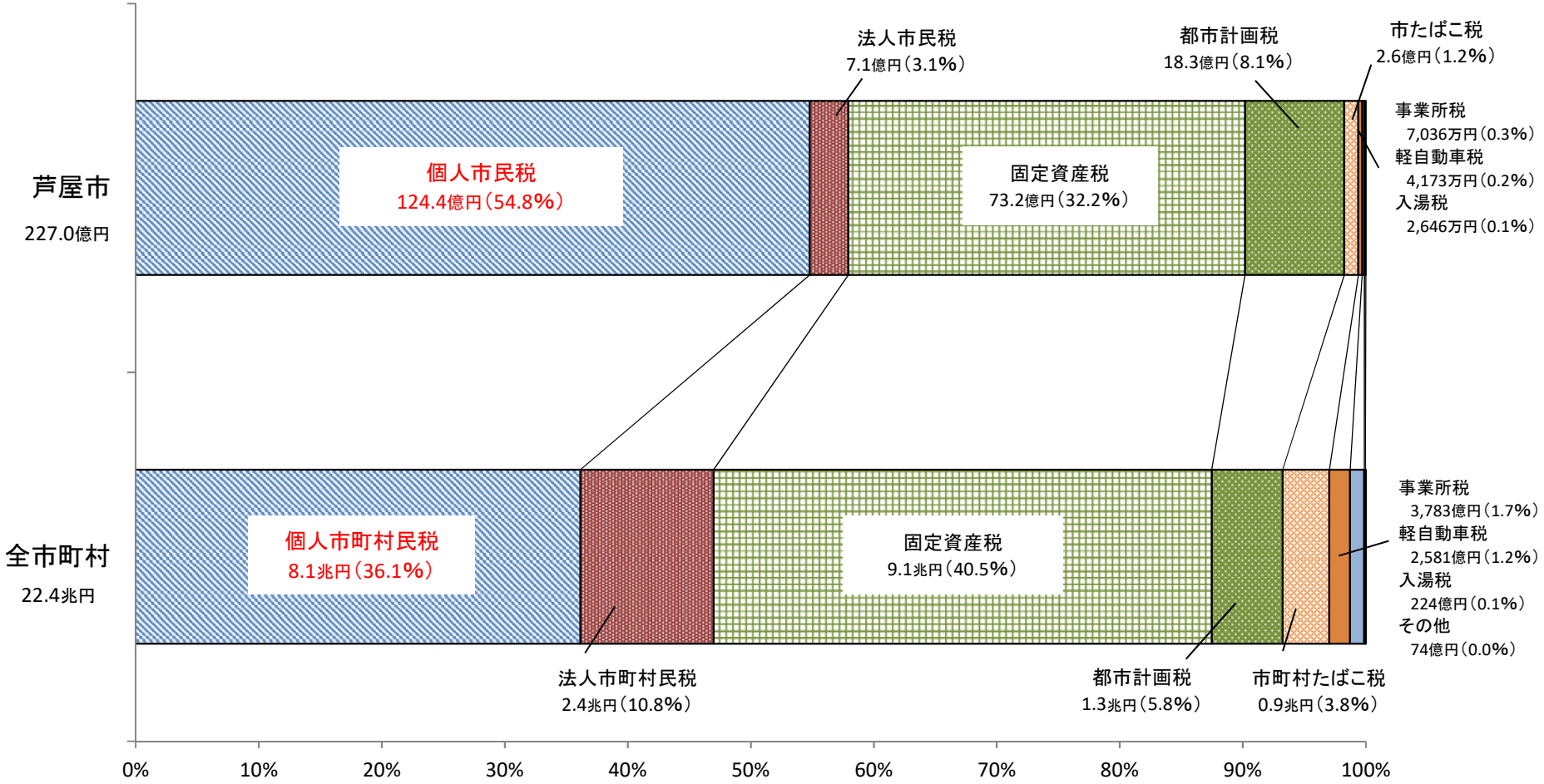
✔ 本市は他の自治体に比べ，歳入に占める「市税」の割合が極めて大きい（51.3%）ため，使途が特定されない「一般財源」の割合も大きくなっている（59.4%）。 → ただし，市税収入が多いため，「地方交付税」の割合は小さい（2.9%）。

※ 普通交付税は0.7億円（0.1%）

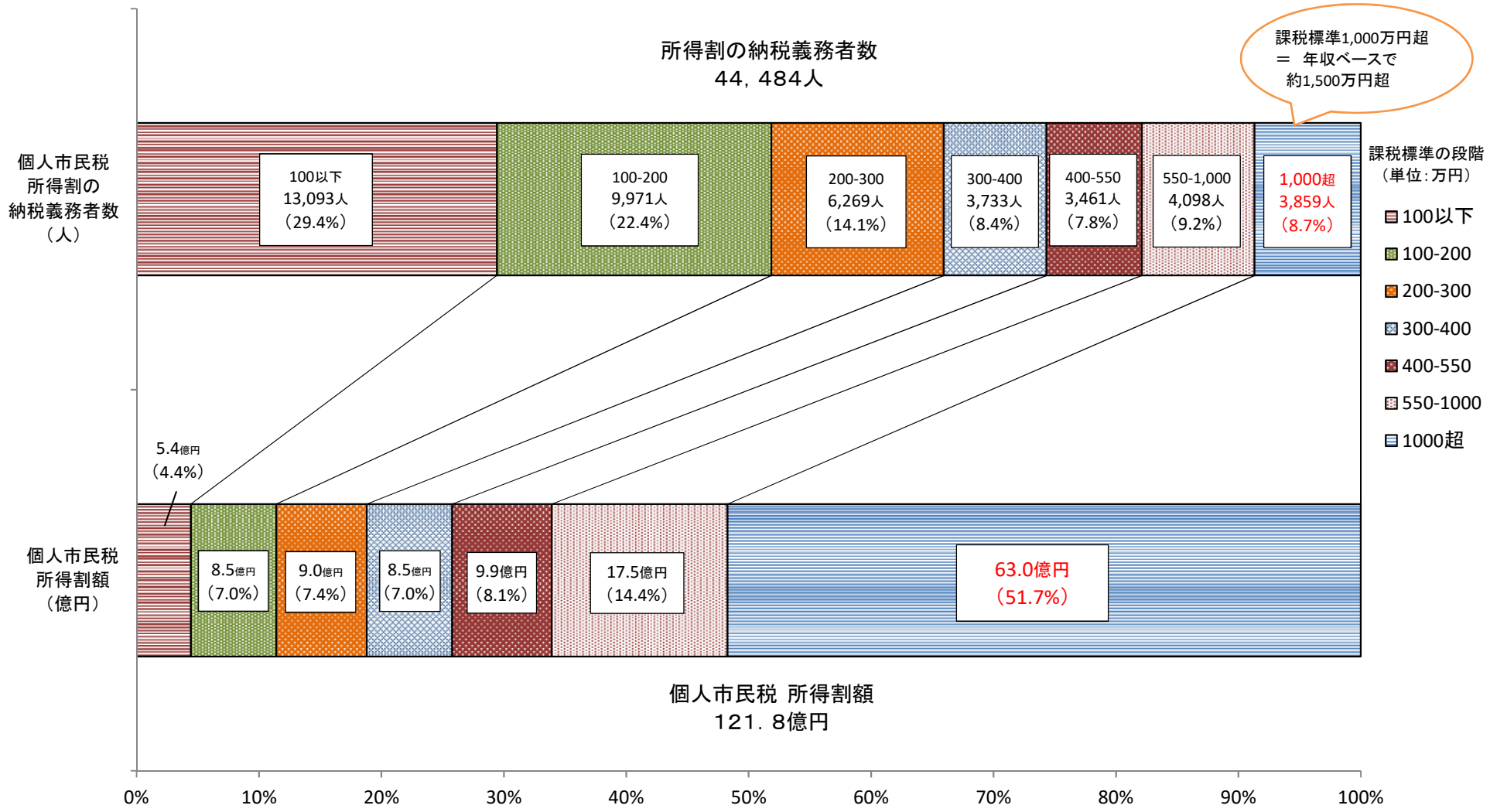


市税の税目別内訳（H30年度決算ベース）

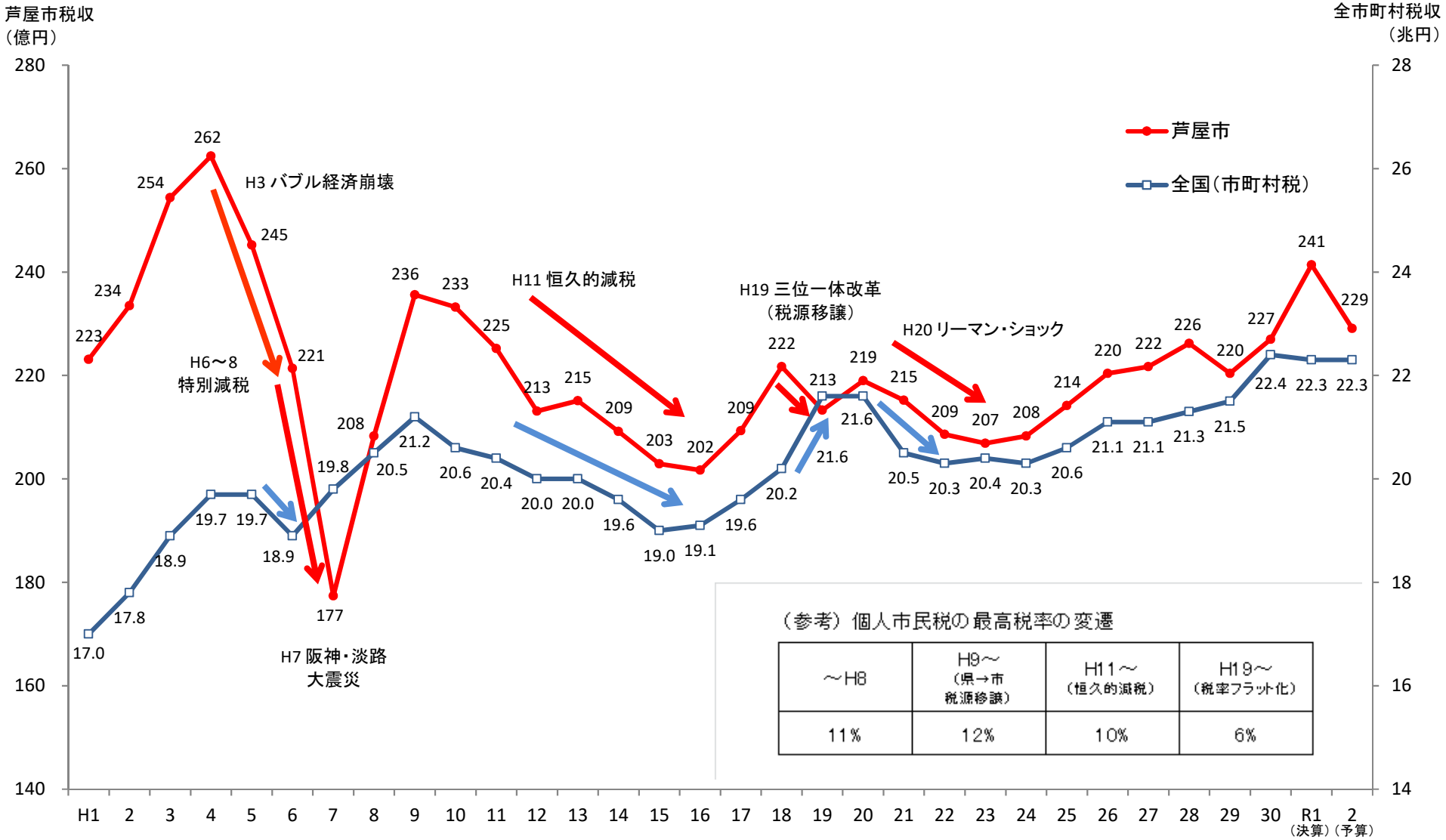
- ✔ 本市は他の市町村に比べ，市税収入に占める「個人市民税」の割合が極めて大きい（54.8%）。
- ✔ 一方，住宅都市であることから企業が少なく，「法人市民税」の割合は小さい（3.1%）。



個人市民税の課税標準段階別の所得割額（R２年度当初課税ベース）



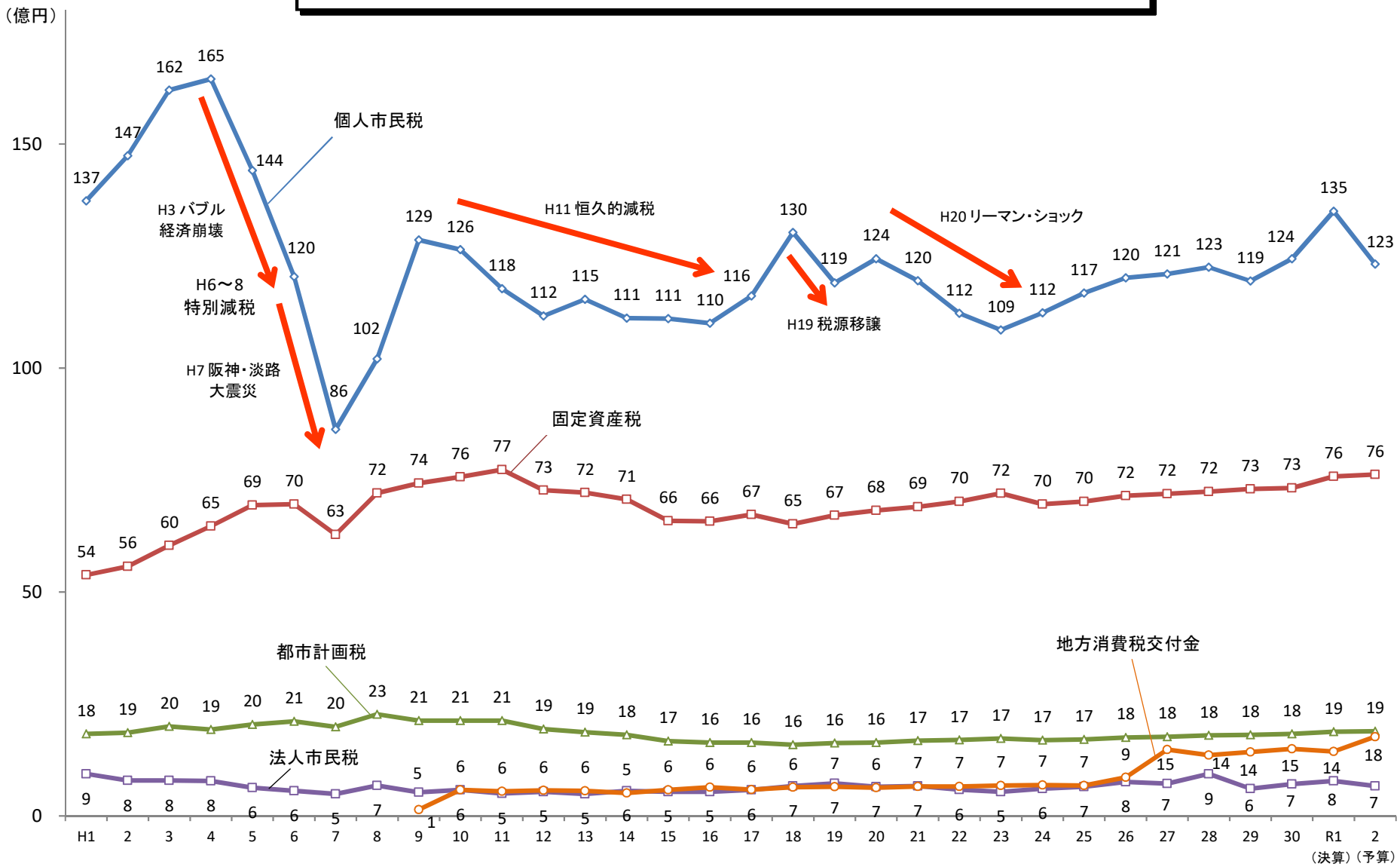
税収の推移（H元年度～R２年度）



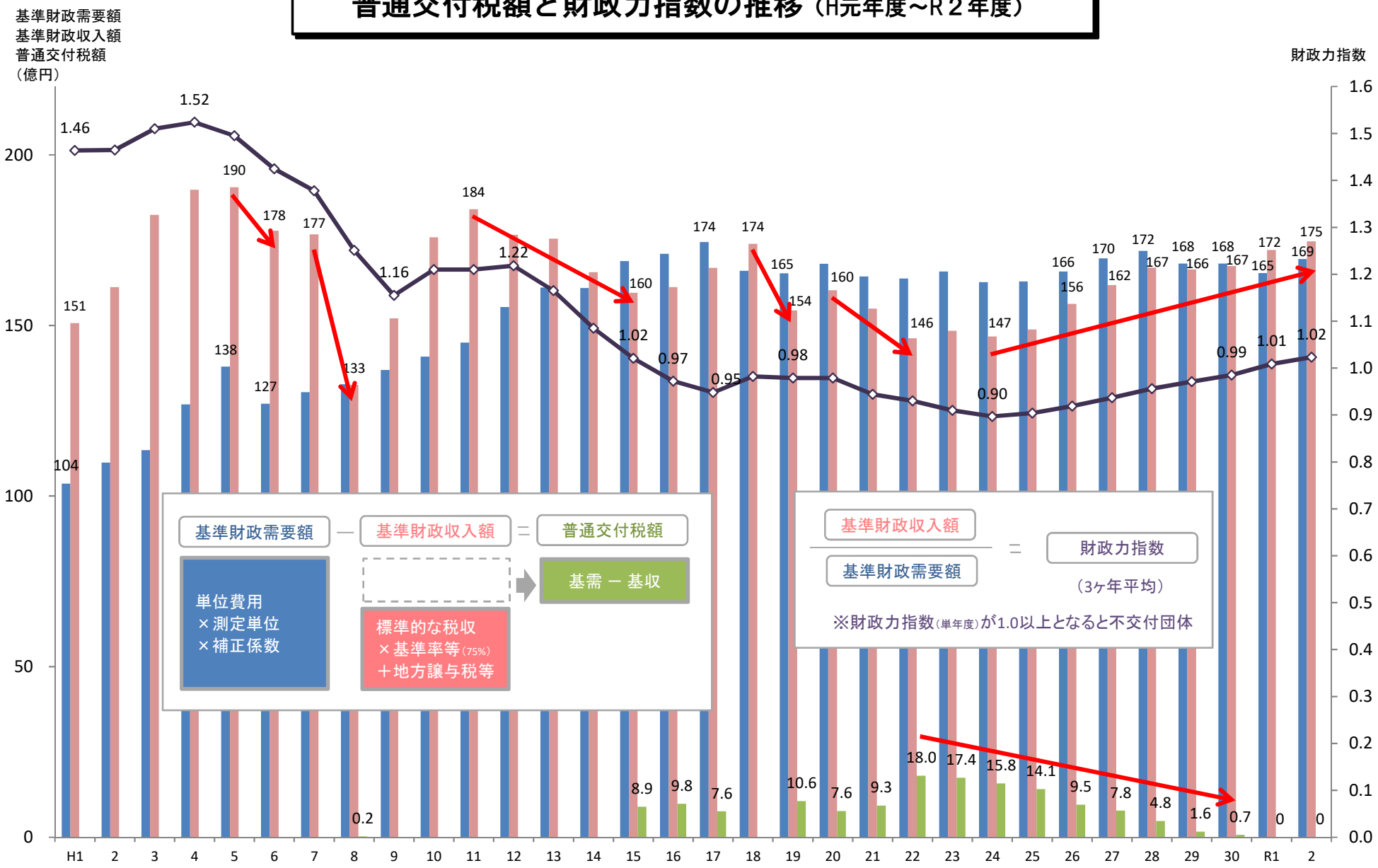
（参考）個人市民税の最高税率の変遷

～H8	H9～（県→市税源移譲）	H11～（恒久的減税）	H19～（税率フラット化）
11%	12%	10%	6%

主要税目の税収の推移（H元年度～R２年度）

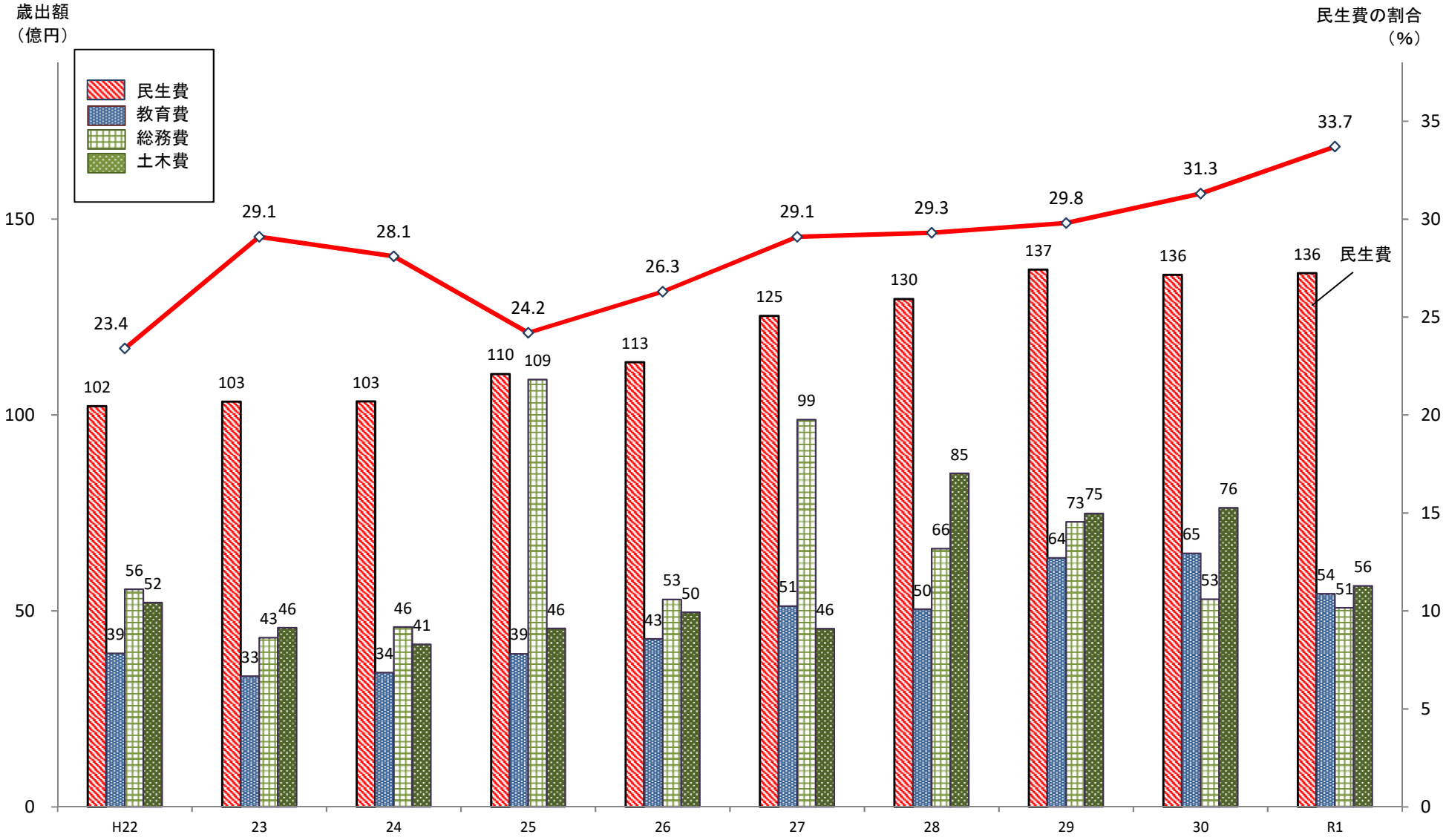


普通交付税額と財政力指数の推移（H元年度～R２年度）

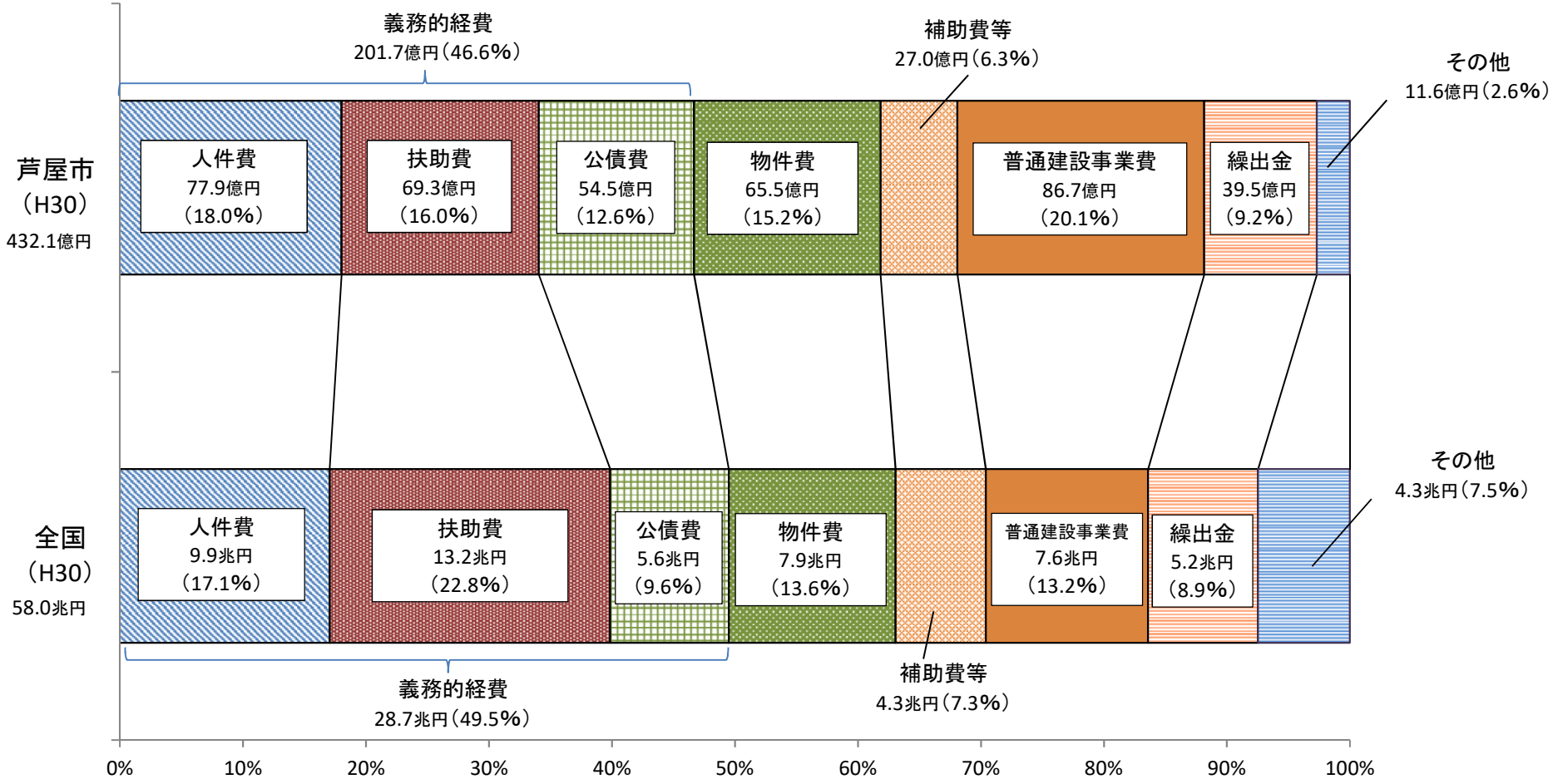


資料⑧

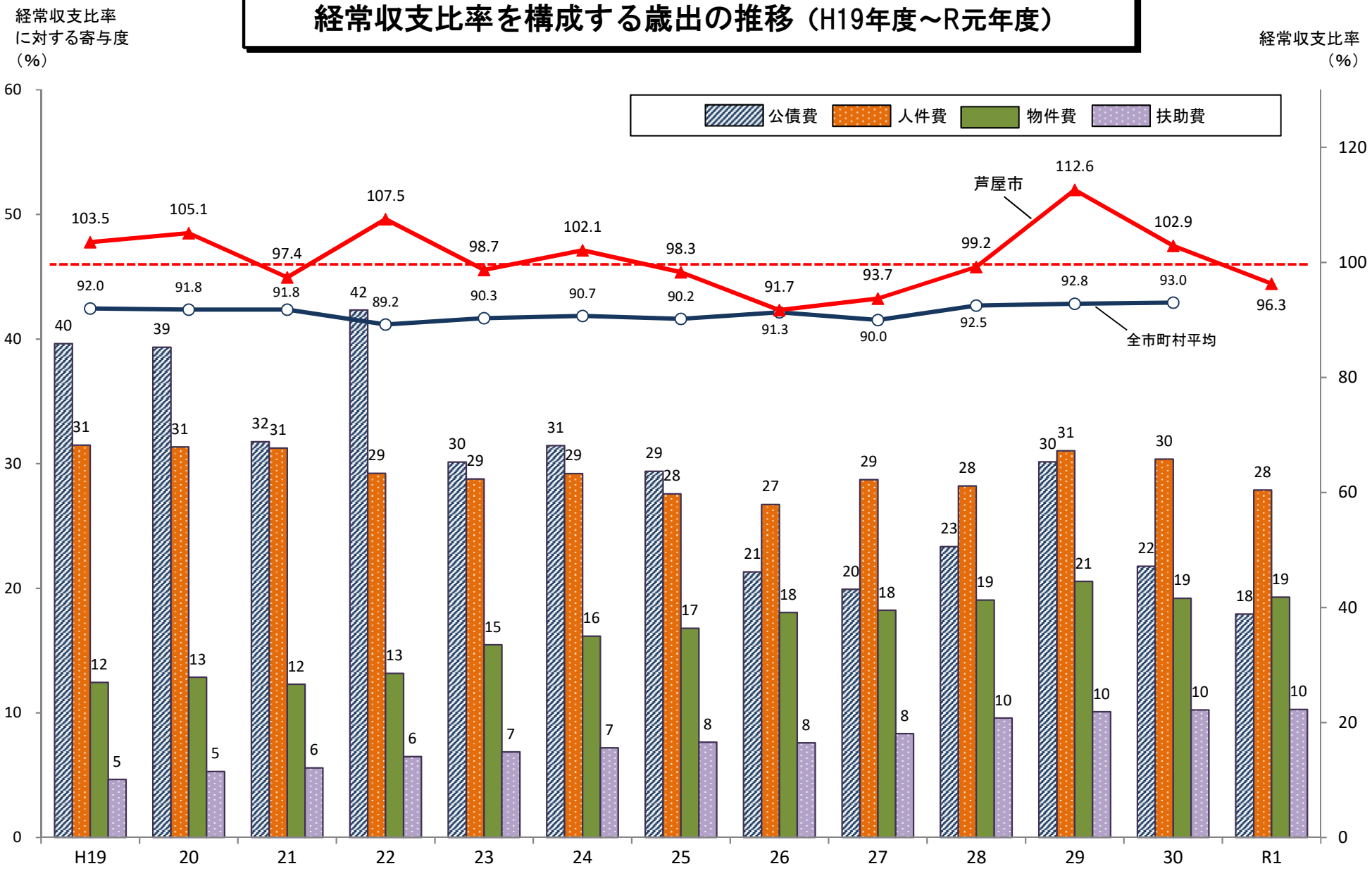
目的別歳出額の推移（H22年度～R元年度）



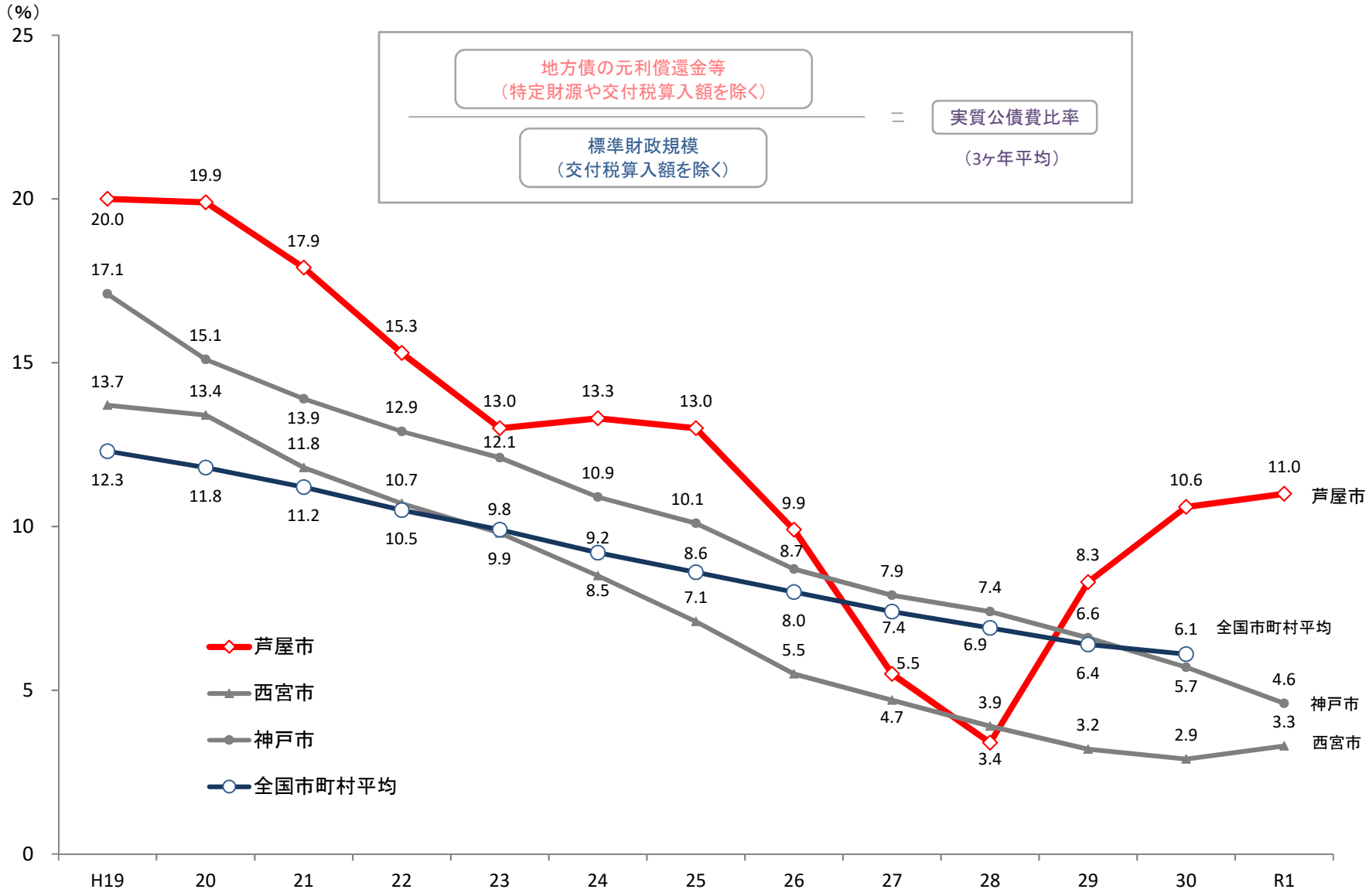
性質別歳出決算額の状況（H30年度決算ベース）



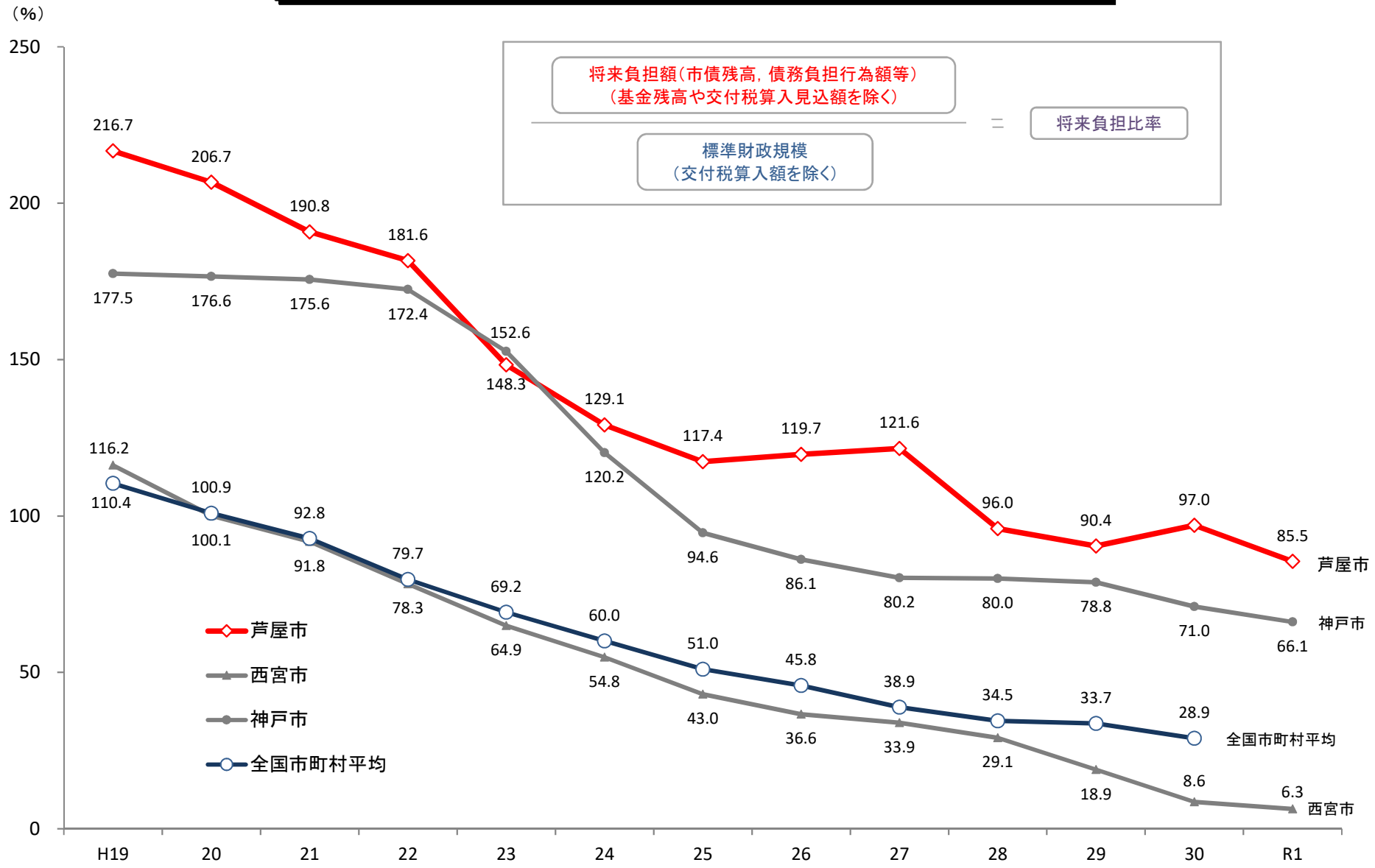
経常収支比率を構成する歳出の推移（H19年度～R元年度）



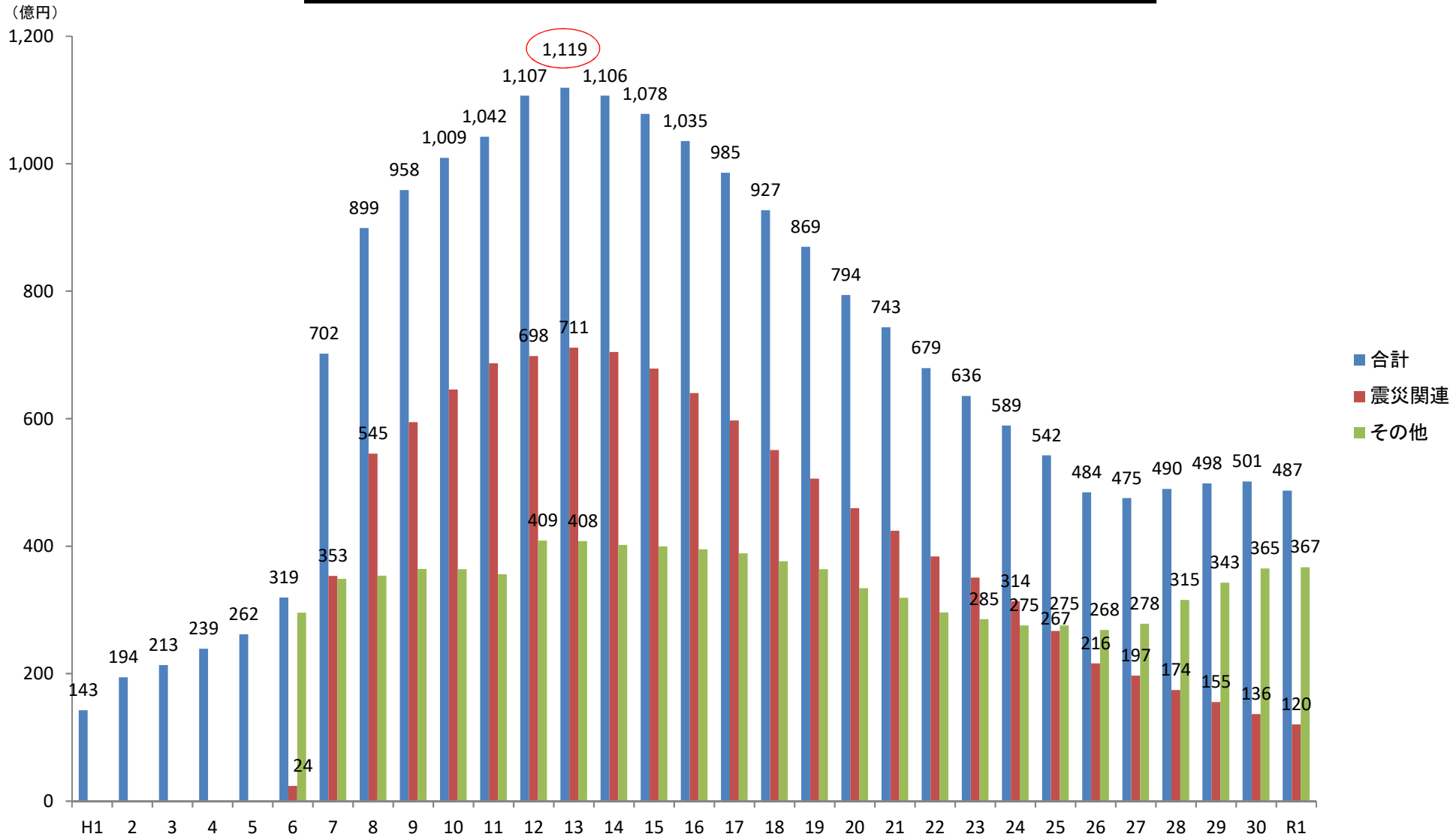
実質公債費比率の推移（H19年度～R元年度）



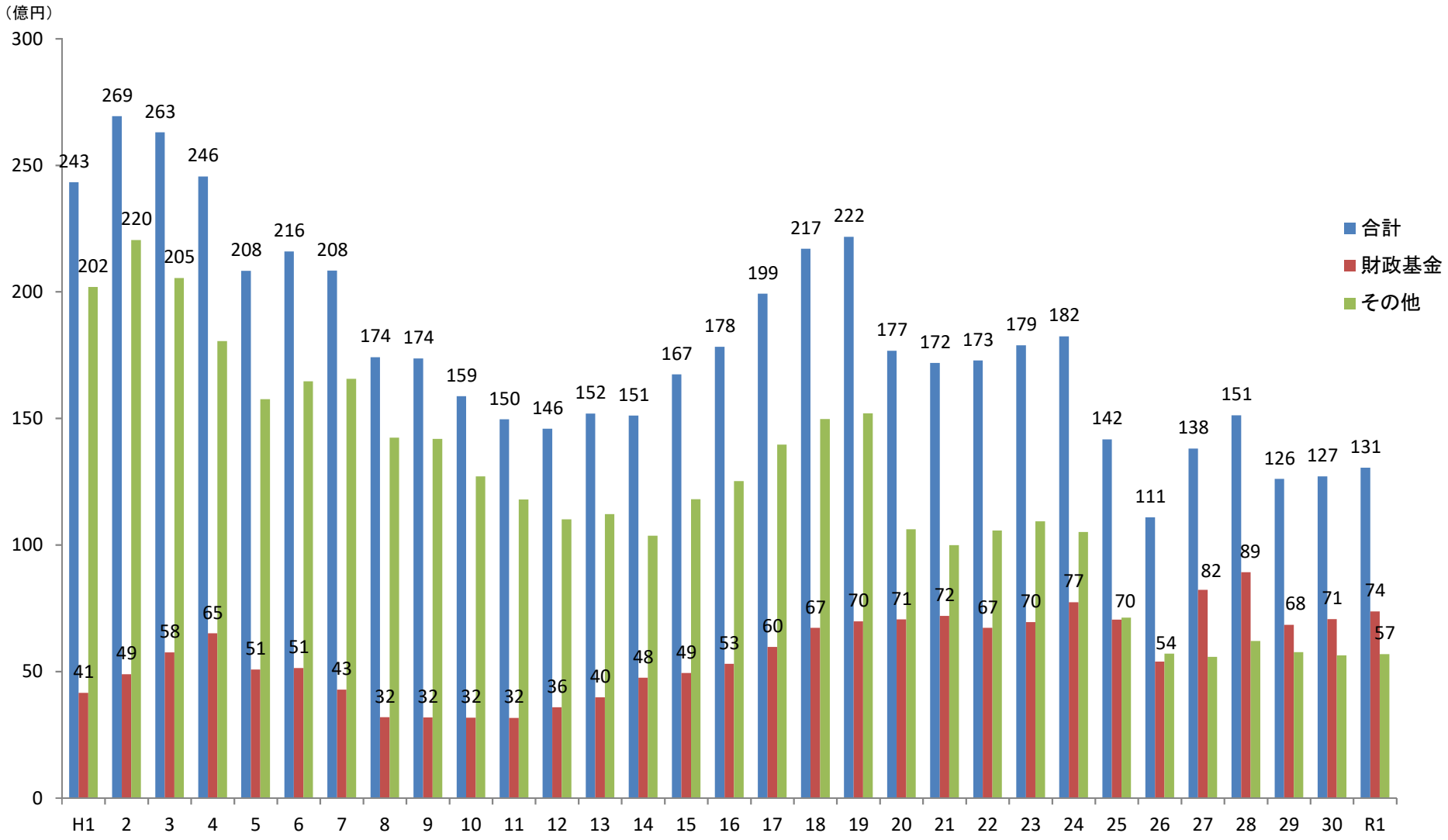
将来負担比率の推移（H19年度～R元年度）

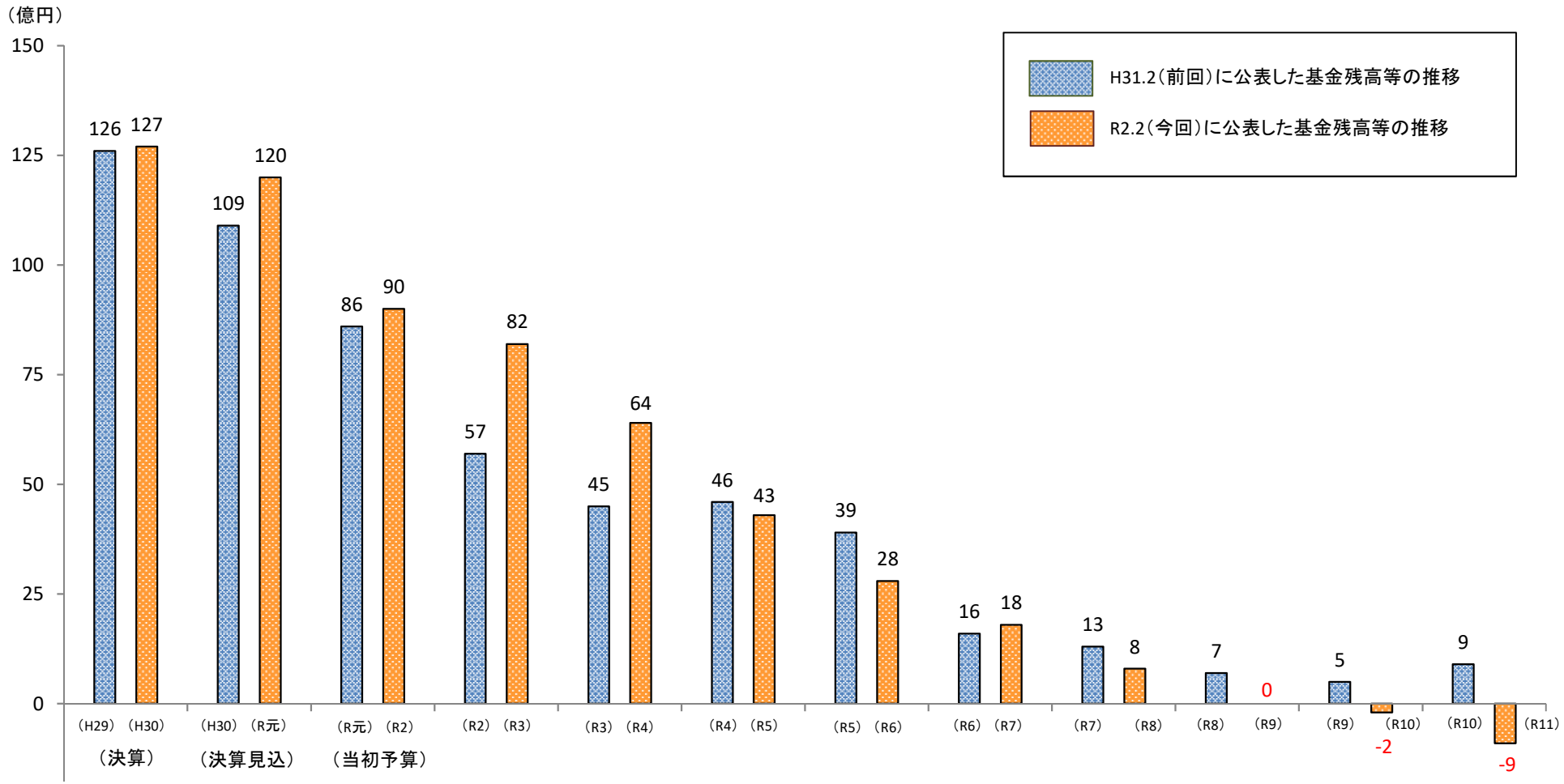


市債残高の推移（H元年度～R元年度）



基金残高の推移（H元年度～R元年度）



※ 基金残高には，定額基金（美術品等取得基金（R2：2億円）及び土地開発基金（R2:3.3億円））の残高を含めていない。

「長期財政収支見込」における基金残高等の推移